



日時：平成28年8月1日(月) 13:00~17:30
会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7丁目2番地34号）

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会 大地震における大都市の防災・減災分科会
参加費：無料（申し込みは不要）
資料：終了後、発表に用いたパワーポイントは「防災学術連携体」Webサイト内
お知らせ欄に公開予定 <http://janet-dr.com/>

開催趣旨

地震発生頻度の高いわが国において、構造物や機能は大都市に過度に集中し、地震災害リスクはますます高まっている。熊本地震においても建物やインフラの耐震性の問題に加えて、多くの課題が顕在化した。本分科会では、大都市の震災リスクを低減するための建物・インフラ・情報インフラなどの高耐震化とそ
ののための社会システムなどについて検討している。
本シンポジウムでは、来るべき大地震に備え、大都市の震災軽減につながる、強靱な都市・社会の構築に向けた提言案とその背景となる考え方を発表し、内容について議論する。



大震災の起きない都市を目指して

プログラム

総司会:	田村和夫 (日本学術会議連携会員・千葉工業大学教授)	
1. 挨拶・趣旨説明	和田 章 (日本学術会議連携会員、東京工業大学名誉教授)	13:00~13:05
2. 熊本地震と日本学術会議・防災学術連携体の緊急対応	米田雅子 (日本学術会議会員、慶應義塾大学特任教授)	13:05~13:25
3. 提言案の構成と全体概要	和田 章 (前掲)	13:25~13:40
4. 提言案の背景の説明		
(1) 大都市域における建築物の高耐震化に向けて	田村和夫 (前掲)	13:40~13:55
(2) 安全性の高い国土・都市に向けての長期的戦略の必要性	南 一誠 (日本学術会議連携会員・芝浦工業大学教授)	13:55~14:10
(3) 社会インフラの機能回復力確保に向けて	高橋良和 (日本学術会議連携会員・京都大学准教授)	14:10~14:25
(4) 堆積平野に立地して発展した大都市に共通の地震に対する脆弱性	浅岡 顕 (日本学術会議連携会員・地震予知総合研究振興会)	14:25~14:40
(5) 宅地の地震被災と耐震性向上の仕組み	沖村 孝 (日本学術会議連携会員・神戸大学名誉教授)	14:40~14:55
(6) 都市活動を支える情報インフラの防災・減災対策への有効活用	山本佳世子 (日本学術会議連携会員・電気通信大学准教授)	14:55~15:10
(7) 都市・建物の安全性確保のための社会システム	福井秀夫 (日本学術会議連携会員・政策研究大学院大学教授)	15:10~15:25
	休憩	15:25~15:40
5. 総合討論	講演者全員+会場	15:40~17:10
6. まとめ・閉会挨拶	小野徹郎 (日本学術会議連携会員・名古屋工業大学名誉教授)	17:10~17:30